



## 遊ぼう、作ろう、発表しよう！ みんなでつくる「こどもまつり」

～「第33回練馬こどもまつり」で子どもたちがさまざまな遊びを楽しむ～

と き	5月9日(土曜) 午前10時30分から午後3時30分
と ころ	光が丘会場:都立光が丘公園 芝生広場(光が丘4丁目) 石神井会場:都立石神井公園 ポート池南側(石神井町5丁目)

9日、都立光が丘公園と都立石神井公園で「第33回練馬こどもまつり」が開催され、親子連れなど延べ5万人以上が訪れた。

「練馬こどもまつり」は、親子と一緒に遊びを楽しみながら、家族や子ども同士の交流を深めてもらおうと、昭和58(1983)年から毎年開催され、今年で33回目。

両会場では、子ども実行委員も多数参加し、こどもまつりの運営に汗を流した。各コーナーでは、紙や木の工作、ジャンボパチンコなど体験型の遊びを楽しんだほか、ステージではダンスや合唱、体操などが披露され、子どもたちは満面の笑みで楽しんでいた。

今回、石神井会場は特設ステージを設置。こどもまつりキャラクター「レインボー」がバックにデザインされた特設ステージで、子どもたちが練習の成果を披露した。



【ツリークライミングで空中散歩】

### 【子どもたちが主役！両会場で約50の遊びに大歓声！】

この日は薄曇りの中、家族連れや友達同士など延べ5万人以上(両会場計)が訪れ、子どもたちは一日中さまざまな遊びを楽しみ、笑い声や歓声が絶えることがなかった。

光が丘会場に来場した区在住の親子は「昔の遊びを子どもといっしょに夢中になって楽しんで懐かしかった。」「一日では回りきれないほどいろいろな遊びがあって楽しかった」と話してくれた。

光が丘会場(都立光が丘公園)

光が丘会場ではスタンブラリーや会場内の木を利用したモンキーブリッジなどの自然に触れ合う企画、タップダンスを体験できるコーナーなど、子どもたちはさまざまな遊びを体験した。また、ステージでは、合唱・和太鼓演奏・パトントワリング・ダンスなど、今まで練習してきた演技を子どもたちが元気いっぱいに披露した。



【真剣なまなざしでモンキーブリッジ渡り】

石神井会場(都立石神井公園)

石神井会場では竹とんぼやけん玉、火おこし体験や木工など単純だが奥が深い遊びに子どもたちが集まっていた。ステージではチアリーディング、フラダンスなどバラエティに富んだプログラムを披露した。

### 【「練馬こどもまつり」とは?】

「練馬こどもまつり」は、親子と一緒に楽しめる遊びを通して家族や子ども同士の交流を深めてもらうとともに、児童館・厚生文化会館といった児童厚生施設が、住民団体などの参加団体と相互交流を広げる目的で開催されている。第1回は昭和58(1983)年で、毎年開催されている。主催は練馬区教育委員会。

まつり当日は、子育てサークルやNPO法人、児童館などの各団体が子ども向けの楽しい遊びを各コーナーで実施した。参加団体の多くが日頃から児童館で活動しており、児童館と同じく毎年参加している団体も数多い。

【問い合わせ】こども家庭部 子育て支援課 子ども育成係 電話03-5984-5827